

広報

みのがも

12 昭和62年
- 1 日号

No.373 〇 人口の動き11月1日現在 総人口41,594人 男20,480人 女21,114人 世帯11,411 発行/美濃加茂市 編集/秘書課 25-2111



伝統を受継ぐ
蜂屋柿

蜂屋町では今、蜂屋柿振興会の人たちが干柿の生産に追われています。何度も何度も一つ一つに手がどこさされ、12月中旬ころから県内外へ出荷されていきます。

自立へ情熱燃やす

青木美和ちゃんは9カ月の時突然、四肢麻痺による体幹機能障害に見舞われた。そのため、5歳の時から車イスとなより、障害を回復しようと県立希望が丘学園（岐阜市

鷺山）に単独入園、同じような障害を持つ子供たちと一緒に機能回復訓練をしながら小学部、中学部と、一生懸命、勉学に励んできた。今では、複雑なことを除けば、身のま

わりのことは何でもできるようになるなど、自立への道を歩みつつけている。これまで、言葉の回復訓練の指導にあたってきた水友先生は、「美和ちゃんは、とても明るく行動も積極的です。まわりのことをいつも気づかい、我がままを言わないやさしい子です。苦しいことがあつて

ともに生きる

現在、市内には障害を持つ人が1000人。そのうち、重度障害者は527人みえます。ひとくちに障害を持つ人といっても、障害の種類や程度は様々です。

こうした人たちが、それぞれハンディキャップを負いながら、それを乗り越えて仕事に励み、あるいは自立しようと努力をしています。

また、ボランティアグループも、障害を持つ人たちのために、それぞれの分野で奉仕活動をしています。

12月9日は「障害者の日」。9日から15日までは「身体障害者福祉週間」です。これを機会に、障害のある人もない人も、ともに交流し、お互いの理解を深めていきたいものです。

美濃加茂市身体障害者小規模授産所（定員20名）として開設された「ひまわりの家」では、身体障害者の生きがい対策として、自らの手で趣味を見つけ、豊かな生活を送っていたことを目的としてひまわりの家

豊かな生活のために

などの催し物で即売され、安くて丈夫との好評を得ています。毎日、受講生の送り迎えをして、指導に携わっている遠山さんは、「みなさんは休まず、喜んで通所してくれます。編物、パンフラワー、それぞれ段階もありますが、高度な作品が完成し、受講生の笑顔を見た時は、何ともいえない喜びを感じますね」と、楽しそうに話してくれました。

ここでは毎日、講師の指導によって、手編みのカーデガンやセーター、ベスト。パンフラワーではミニ生け花などを楽しく作っています。完成品は、市内の産業祭、福祉のつどい、公民館まつり





希望が丘学園でタイピングを学ぶ美和ちゃん、16歳
(古井町下古井)

も、自分で乗り越えていく強い意志も持っています。小さい頃から、淋しさや障害と戦いながら、厳しく生きてきた美和ちゃんの人柄をこう評す。美和ちゃんは、手足を思うように動かすことができない。肺活量も少ないため、相手の話は普通に理解できても自分の意志伝達が思うようにできない。だから美和ちゃんは、自分をよりうまく表現しようと、6年から中学1年にかけてタイピングとワープロをマスターした。ただ、手足が不自由なため、特殊な方法を身につけた。それは、ヘッドキャップに棒を取りつけ、頭を動か

してキーを打っていくというものだ。慣れるまでには大変だったが、今たまたまだが、今では扱い方から、ちょっとしたラブルのなおしも自分ででき、スピードも加わってきた。自分の考えも自在に書きあげ、友達や家族に手紙を出したりもする。そんな美和ちゃんが今年、一つの作品を10カ月かけて作り上げ、注目を集めた。

それは、アルプスの少女ハイジの中に出てくる、歩けない親友クララが奇跡的に立ち上った瞬間を描いたタイピングアート「クララのように」という作品だった。読書の好きな美和ちゃん、クララのような奇跡を夢に描くのだが、多分、自分には起きない。そんな奇跡を、タイピングを自由にあらわすことで作りあげた作品に表現したのだ。その作品は、東京で開かれた62年度・肢体不自由児父母の会全国大会タイピングアートコンテストに集まった全国三百点あまりの中から見事入選を果たした。そして、その作品は、全国父母の会が発行している機関誌「あゆみ」の表紙を飾ることになった。



美和ちゃんの作品
タイピングアート「クララのように」

「淋しいこともあったけど、友達もいっぱいできたし、学園は楽しい。クララのような奇跡は、多分私には起きないけど、私は、タイピングとワープロを思い通りにあやつって、自分なりに出来ることにこれから挑戦していきたい。」一言ずつ、ゆっくり話す美和ちゃんから、希望に燃える情熱があふれていた。

太陽の家 働く喜びを体験



太陽の家は、心身障害者の小規模作業所（16才以上）として蜂屋町下蜂屋の坂井久三さんにより、昭和57年に設置されました。

これは、心身障害者が、働く喜びを体験し、生活の場として成果をあげようとするもので、市と県の補助を受けて運営されています。この作業所は、一般家庭と同じ温かみのある造りで、現在、刃物を納める化粧箱の組立てが行なわれています。月2回のボランティアグループ。あじさいの会。や福祉委員の方々の応援も受けながら、暖やかな雰囲気になまっています。

設置者の坂井さんは「自宅に居ても、何もできないこの仲間達ですが、会社へ弁当を持ってきて、給料を得るのと同じシステムになっています。毎年バザーやボーリング大会、温泉旅行も、まわりの温かい善意によって実施できるなど、仲間達には楽しみが、いっぱいあります。」と語ってくれました。

朗読奉仕の

鼓動の会



「今は小説を朗読して、録音しています。6ヶ月ぐらいかかりますね。」

この会では、目の見えない、ライオン盲人会の方々のために、情報や文芸などのテープ作りをして、朗読をとおして奉仕を行っています。

図書館で資料収集や、月1回の勉強会を開き、郷土の伝説や歴史、小説、広報紙など各種の朗読を手がけています。

高山線、太多線、長良川鉄道の時刻表を主に点訳しています。

この会は盲人の方のために点訳を通しての奉仕を目的としています。

会員は、岐阜の調音協会点字図書館が実施している点字の通信教育を受け、初歩的な勉強から始めています。今後は、盲人の方が日常使用できる、専門的な点訳にも取り組もうとしています。

「駅前広場の地図を点訳で完成させたと

点訳奉仕の

点燈虫



手輪（話）の会



この会は、口や耳の不自由な人たちと一緒に手話通訳の学習活動を行っています。

みんな、社会人として働いている人ばかりで、家庭や職場の悩みを話したり、情報交換をし合うなど、活発です。

活動は、定期的な学習会や料理教室、

このような福祉事業を進めています。

市では、身体障害者福祉対策として各種の事業を手がけています。

●昭和60年度にメニュー事業として聴覚言語障害者6世帯と市福祉事務所を結ぶミニファックス（送受兼用機）を貸与設置し福祉関係機関等との連携を密にし、社会参加への増進を図ってきましたが、61年度は消防署にも設置、さらに今年度は新たに一世帯に設置しました。



63年3月の完成を目前に建設進むカナリヤの家

ともに生きる

本好きな読者のメンバーは、盲人会の方々の要請に合わせ、目となり、足となって温かい手をさしのべています。

胸をえぐられるような ある母親の言葉

電車の中でこんな光景にぶつかりました。三歳くらいの女の子を連れて若いお母さんと乗り合わせたのですが、そのうち、その女の子が駄々をこねだしたのです。すると、そのお母さんが大きな声でこういいました。
「そんなにギヤギヤいうと、はら向かいの席のお見さんみたいになるわよ」

反対側の座席には、片脚の不自由な青年が腰かけていたようです。むすかる子供をたしなめるために、とくに発した言葉でしようが、私も障害者の一人として、胸をえぐられるような悲憤な気持ちになりました。

障害者に対する国の施策が年とともに進み、近年は在宅障害者の援護に福祉の手が差し伸べられていることは、たいへん喜ばしいことです。しかし、その反面では依然として、障害者を見る人々の目や心が冷たく彩られていることを、しばしば感じてならないのです。

哀れみや同情を支えに 生きてきたのではない

障害者に対して、たいていの方

きは、苦勞しましたけど本当に喜んでいただけました。会員不足ながら、今後がんばります」と抱負を語ってくれました。

野外研修などのほかに、身障者のスポーツ大会にも参加しています。和気あいあいのサークルとあって、年々、会員数も増えています。

障害者のために

あなたの力の百分の一を

社会福祉法人 日本盲人職業開発センター所長

松井 新一郎

が抱く感慨は「かわいそうに」とか「不幸な人だ」というものです。しかし、これは障害者にとっては大きな誤解なのです。
私も二十六歳の時に、戦争で両眼失明というハンディを余儀なくさせられました。それから四十数年の人生を振り返ってみると、決して、哀れみや同情を支えに生きてきたわけはありません。障害者はたまたま目や耳、あるいは

しかし、そうした身体になったのであれば、その宿命を甘受するしかありません。そこで私が声を強めていいたのは、
「失われたものを数えるよりも、残されたものを数えよう」ということなのです。
この言葉は障害者自身はもちろん、それをとりまく家族、そしてすべての社会の方々十分に理解していただきたいことなのです。

手や足を失っただけであり、その障害は身体の一部であり、すべてではないのです。ところが、たとえば私のように目を失ってしまうと、他の能力もすべて失ったかのように思われがちで、こうした偏見に出会うたびに、いまだまれな

失われたものを数えるよりも
残されたものを数えよう

だれも自分から好んで障害者の道を選んだわけはありません。

そのためには、たとえば街頭で障害者の方が困っているのを見かけたら、「どうしたのですか?」「だいたいどうですか?」と、この言葉を、ぜひかけてあげてほしいのです。もちろん勇気のいることですが、恥ずかしさや、テレ。が先になつて、ともすれば見て見ぬふりをしたいがちかもしれません。

しかし、障害者が求めているのは、たくましく自分の力で立ち上がるのを、じっと見守ってくれる

感動を与えてくれた ある小学生との出会い

愛の目と、立ち上がれる手段を講じてくれる。愛のひと声。あたたかい手。なのです。
つい先日、散歩をしていると、こんな小学生に出会いました。
「おじさん、目が見えないんだね。その角を曲がった所で工事をしてるよ」
その少年は、さっと駆け出した。目と、工事現場の人に、「ねえ、目の不自由な人が通るから、ちょっとだけ工事をストップしてくれない?」とお願ひしてくれていたのです。私の胸に久しぶりに熱いものがこみあげてきました。

どんなに物的環境の整備による街づくりが行われても、そこに住む人々の心に、砂漠が横たわっている。障害者の真の福祉の増進は図れないと思うのです。この少年のような気持ちで、障害者のために、あなたの力の百分の一を貸していただきたいのです。(談)

松井新一郎氏は、自ら失明というハンディを背負いながらも、目の不自由な人々のために新しい職業の開拓に力を尽くされておられます。こうした氏の功績に対して、昭和六十年春に、第十九回吉川英治文化賞が、秋には、第十五回毎日社会福祉賞が贈られました。

●ことは、運動、社会性、知恵等の発達や行動に問題のある幼児、身体に障害のある幼児を対象に、早期に指導を行うための心身障害児通園施設「カナリヤの家」が来年の3月までに完成します。

●民間心身障害者小規模模倣産所(太陽の家)と委託契約を結び運営の充実を図っています。

●在宅重度心身障害者に対し家庭奉仕員の派遣サービスをを行っています。

●在宅重度心身障害者へのタクシー利用料金の一部助成を行っています。

●身体障害者の日常生活行動範囲の拡大と就労条件の向上を図るため、自動車運転免許取得に要する経費及び使用する自動車の改造費に一部助成しています。

●身体障害者(1級・4級)が結婚する場合、その前途を祝するため「祝金」を支給しています。

そのほか、日常生活用具の給付や補装具の交付、更生医療の助成などに努め、地域福祉の向上を図っています。

600年の伝統を未来へつなぐ

名産・蜂屋柿

みなさんは、「蜂屋柿」を知っていますか？。それは蜜のよう
に甘く、とろけるようにおいしい干柿なのです。

時の將軍に献上するなど、六百年の伝統を誇るこの蜂屋柿にも、
かつて衰退の時期がありました。先を見すえた一人の柿づくり師
とその人に共感した人々たちによって、今又、美濃加茂市の名産・蜂屋
柿が脚光を浴びようとしています。

室町時代から 時の將軍に献上

蜂屋柿の歴史は古く、それは鎌
倉時代にさかのぼるとさえ伝えら
れています。一説によれば、文治
年間（1185～1190）に、郷士・蜂屋基
太夫によって、鎌倉將軍に土地の
産物である干柿を献上したところ、
大変喜ばれ、干柿と村名を蜂屋と
結びつけたということです。

しかし、室町中期まで、蜂屋柿
の名は史上に現われていないため
史実としては、室町時代の足利將
軍をはじめ、豊臣秀吉、徳川家康
など、時の將軍に瑞林寺を通して
蜂屋柿を上納、それによって寺領

を与えられた他、蜂屋村は諸役免
除の特典を受けていました。この
諸役免除は、上の柿1個に対し、
米が1升2合に相当したとされて
います。

御菓子場に指定された 蜂屋村

また、徳川家康が関ヶ原戦場に
向う際、瑞林寺の江田和尚は村民
とともに墨俣で出迎え、蜂屋柿を
献上したところ、ご機嫌うるわし

く、直ちに瑞林寺を寺とし、さ
らに蜂屋村を御菓子場と指定（將
軍や大奥の食物となる果物やその
加工品を納めるところ）、諸役の
免除も引き続いてあったというこ

とです。

セントルイス万国博で 金牌を受賞

明治維新を迎えると、蜂屋柿の
上納は停止され、村の諸役の特典
も消失しました。

その後、明治政府は地場産業
の振興と農産物および、その加工
品の改良に力を入れ、パリ世界大
博覧会（1900年）で蜂屋柿は銀牌を受
賞したのをはじめ、セントルイス
万国博覧会（1904）では干柿に金牌、
苗木は銀牌を受賞、アラスカコー
コン太平洋博覧会（1908）でも金牌
を受賞するなど、蜂屋柿は世界的
な絶品となったのです。

大正の最盛期には 30軒が生産

その後、蜂屋村では大正になっ
て蜂屋柿の増産を図り、蜂屋柿販
売組合を設立、大正10年頃には蜂
屋村で30軒ほどの農家が蜂屋柿を
生産していたといわれています。

蜂屋柿は手づくりの味



蜂屋柿振興会々々長

村瀬 俊雄さん（77才）

蜂屋柿は、長
い歴史と伝統を
誇る手づくりの
味です。堂上蜂
屋と呼ぶ、織蜜
で四角ばった大
きな洪柿を干柿
にするのですが、
工法は昔も今も
変わりありません。
それだけに

熟練を要します。
生柿は普通、いろみ始めた11月
8日頃から収穫します。取った柿
はまず2～3日追熟させ、11月20
日頃までかかって皮むきをします。
そして次にイオウでいぶし蒸し、
干し場のさおに、2つずつ、つる
します。2週間ほど干したら、今
度は手かえしをして、まんべん
なく日光を与えます。その後、左の
手の平にのせて、右手でさすりな
がら水分を均等にし、
さらに、ほうきでさ
すって白粉（果糖と
ブドウ糖）がふくよ
うにします。こうし
た手入れは、特に、
寒さと陽あたり、風
あたりが必要條件で
す。大敵は雨と暖冬
で、気候と天気を常
に気にしながら何回
も一つ一つに手をほ
どこさなくてはなり
ません。



昭和初期までに衰退

ところが、時代とともに蜂屋柿に対する需要が少なくなり、養蚕も盛んになったため、昭和の初期にかけてすっかり衰退、生産用の柿の木は見られなくなってしまいました。

柿づくりにかけた一人の青年

そんな時、一人の青年が家の前に植えた一本の柿の木に将来を賭

蜂屋柿振興会が発足

けたのです。その人の名は村瀬俊雄さん。当時20歳。村瀬さんは、歴史の流れの中で消えてしまった蜂屋柿を再び世に出そうと、当時、516人の有志に話しかけ苗を植樹。ところが、思うようにいかず他の4人は断念。それでも、失敗を重ねながら、村瀬さんは、ただ一人、ひたすら蜂屋柿を守りつづけてきました。

苗木5千本を植樹 生産者も増える

早い人では5年目ぐらいから、商品として出荷するようになったのです。会員も少しずつ増え、それに伴って柿の苗木の補助を受けて、この10年間はとて約5千本が植えられるました。

こうして、現在、会員約80名のうち、半数以上は商品として出荷できるようになっており、少しずつ、産地としての基盤ができています。

県内外に広がる 蜂屋柿の需要

蜂屋柿の販売は、産物が中心で県内をはじめ、東京、大阪、名古屋などの遠方からも直接、生産者に注文（農協蜂屋支所を通して販売しているものもある）がありま

拡充図り蜂屋柿の産地づくり目ざす

今後、蜂屋柿の生産地として、さらに拡充を図りつつ、六百年の伝統を生かし、世界に誇る美濃加茂市の名産として守り育てていきたいと話しています。



そんな時、一人の青年が家の前に植えた一本の柿の木に将来を賭けたのです。その人の名は村瀬俊雄さん。当時20歳。村瀬さんは、歴史の流れの中で消えてしまった蜂屋柿を再び世に出そうと、当時、516人の有志に話しかけ苗を植樹。ところが、思うようにいかず他の4人は断念。それでも、失敗を重ねながら、村瀬さんは、ただ一人、ひたすら蜂屋柿を守りつづけてきました。

蜂屋柿のことを知ったのは、今から15年ほど前のことです。岐阜大垣の知人から、「岐阜の名産です」といって贈っていたので以来、毎年、いただくんです。ご近所へもおすそわけするんですが、共々、それは楽しみにしているんです。



東京都杉並区
山田寿子さん (60才)

伝統を守り続けてください

私の家では、そのままだいたたり、おせち料理にそえるなどの工夫をしています。

一度、その味が忘れられなくて他から干柿を取り寄せていただいたのですが、蜂屋柿のおいしさと程遠いものでした。

これからも、季節の味わい深い名産・蜂屋柿の伝統を守り続けていってください。

私の家は兼業農家です。主人が勤め人のため、蜂屋柿の生産は私の仕事になっています。振興会には、最初から仲間入りさせていただき、毎年、いろいろ教えていただきながらつくっています。一つ一つに真心を込め、苦勞して出来上がった時には嬉しいものです。

名産・蜂屋柿の生産地の一部

を受けもつというので、これから老後に向け、主人と2人で、よろこばれる柿づくりをしていきたいと思っています。



下蜂屋
木沢幸子さん (55才)

こうして、いよいよ12月15日頃から年内いっぱいにかけて出荷するわけですが、1年間かけてつくりあげた蜂屋柿を箱詰する時は、まるで娘を嫁に出すような気分です。喜んで食べていただけるなら、そんなうれしいことはありません。

蜂屋柿振興会も、結成してから、もう8年がたちました。会員も熱心なため、それは素晴らしい干柿を生産するようになりました。今後は、水田転作などによって柿の面積を拡大させ、生柿から干柿にいたる一連の生産体制をつくりあげるとともに、ハウスによる干柿の商品づくりも試みていきたいと考えています。

美濃加茂工場が本格稼働

ICの組み立てなど一手に



市の誘致企業として、蜂屋町に進出した富士通ヴィエルエスアイ美濃加茂工場が、今年の8月から試験稼働を経て11月12日から本格稼働を開始しました。

美濃加茂工場は、富士通の子会社・富士通ヴィエルエスアイ（本社・愛知県春日井市高蔵寺町）が蜂屋工業用地に建設を進めてきたものです。同工場は、富士通グループの

中で、①ICカードの組み立てと試験②ハイブリッドIC（混成集積回路）の組み立てと試験③IC製造設備の開発の3つを一手に引き受けます。

ICカードは、現在最も普及している磁気カードに比べ百倍以上の記憶容量を持つといわれ、銀行カードやクレジットカードなど急速な需要拡大が見込まれています。

ハイブリッドICは、混成集積回路と呼ばれる高性能な電子部品。海底中継器やカメラ、電子ライタなど幅広い分野で使われています。

工場は、鉄筋コンクリート造り4階建て、第一期分の投資額は約50億円で、従業員は200人となっています。

気を付けよう 悪質な商品販売

会問題となったことはご存知のとおりです。

悪質な訪問販売による消費者被害は、一昨年大きな社会問題となった豊田商事事件以降も依然として跡を絶たず、今年当初においては、いわゆる「霊感商法」が人の悩みや不幸につけ込む悪質な商法として、これまた大きな社

経験、知識の乏しい若者や、見せかけの親切にほだされやすいお年寄り、お買い得だの、有利な話に弱い主婦たちに、悪質セールスマンは手をかえ、品をかえ迫ってきます。

世の中うまい話はころがっています。

選ばれておめでとう。と言われても、業者のカモに選ばれただけ、アンケートに協力しても、お礼をしてくれるどころか、相手の作戦にひっかかるだけです。私たちの祖先が、何百万円もする壺や塔をほしがっているのでしょうか。このような悪徳商法を見破る目やしつかりした気が

構えが大切です。

それには何よりも消費者自身が取引の内容等について正しい知識や情報をつかみ、セールスマンの甘い言葉に乗せられないことが必要です。

悪質商法には

- ①かたり商法 ②開運商法
- ③SF商法 ④講習会商法
- ⑤危険です商法 ⑥アポイ
- ⑦ホームパーティー
- ⑧景品商法 ⑨お礼
- ⑩無料招待旅行商法
- ⑪押しつけ商法 ⑫母親テスト
- ⑬キャッチ商法

などがあります。今回から悪質商法にひっかかるないため、個々の商法について紹介します。

1 かたり商法

役所関係のかたり

あたかも消防署や郵便局などの公的機関からの訪問らしくよそおい、商品を売りつけるものです。制服らしいものを着ているので、だまされたという苦情が多いのです。



消防署の方から
消火器の
点検にきました

《消火器》防災の心かけは必要ですが、一般家庭で必ず備えつけなければならない法的義務はありません。

《表札》家族全員の名前を標示しておくことは、郵便物配達の上からものごましいことですが、強制されるものではありません。代金を受け取ったあと、名前を書き入れたものを送らず、ドロンをきめこむ業者がいます。

有名店のかたり

《有名店のかたり》というのがあります。〇〇デパートへ納品した帰りだとか、〇〇メーカーのものだとか、聞いたふような店名をもち出し、たまたま余ったものなので安くする、といて売りつけるものです。背広や和服などがありますが、あとから粗悪品と気付いても販売店は不明で、どうにもなりません。持ち合わせの金だけでもいい、といわれますが、安物買いの銭失い。とはこのこと。うっかり財布のヒモは解かぬようご注意ください。





上古井商工活性化シンポジウム

足元見つめ活性化へ

上古井商工活性化シンポジウムがこのほど森山公民館で開かれ、急増する人口と商店の減少など、アンバランスにある森山地区の将来について話し合いが行われました。

商店街として発展

古井町上古井地区は、大正から昭和初期にかけて都賀系、糸の操業に伴い、商店数が増加。大正元年の31店から、昭和5年には10倍を超える315店にまで増加し、商店街として発展してきました。

他地区へ大型店進出

しかし近年では、他地区への大型店進出や、道路事情等により商店数は年々減少しています。

人口は2倍に急増

一方、人口は、現在、森山団地350戸を抱え、マンションアパートも激増、近年の増加は著しいものがあります。昭和60年の国勢調査を見ても、前回の調査に比べ、古井町の人口は1940人増加、市内全体の人口増の75%を占めるに至っています。昭和30年の国勢調査では、太田町の人口7564人に對し、古井町の人口は、8537人、昭和60年の国勢調査では、太田町が9993人に對し、古井町は15118人と、市政施行以来人口だけでみると2倍近く増

え、住宅環境も大きく変わっています。

商店は人口に反して減少

ところが、こうした人口の増加に反して、前述のように商店の減少というアンバランスが生じてしまいました。



英知を発揮する森山会

そんな時、街に活気を、と、商工業の後継者が集まって発足した「森山会」が、土曜マーケットや夏祭り広場など各種のイベントを開催、アイデアを生かした森山街道ふる里づくりへ行動を興したのです。

将来を見ずえる動き

こうした中で、「活性化させるにはどうすればいいのか、上古井の将来をみんなで考えてみよう……」こんな声が地元商店主らの間で広がり、このほど、古井商工発展会・名

店会・森山会主催による「上古井商工活性化シンポジウム」が、地元商工業者らの出席により開かれました。

シンポジウムを開催

シンポジウムでは、最初に市長が、当面する市のプロジェクト事業と上古井地区との関連性や、市の事業の推進状況などを説明、そして、「人口増の著しい上古井地区は、住宅地と商店街の均衡ある発展が理想です。みなさんの長期展望に立った提言や発言を期待しています」と述べ、シンポジウムに入りました。

シンポジウムでの主な提案内容は……

- 山手線の国道41号線への完通に伴ない、今後は縦の道路を計画し、地域が并盤の目になるような道路整備が望ましい
- 住宅政策による消費者人口の増加を期待
- 公共施設の配置
- 山手線沿線の将来構想
- 大学誘致による消費者人口の増加
- オカワや古井SC周辺が最近、特に活気づき、繁華街

活性化へ向け布石

どれも、上古井地区の街づくりにとっては貴重な提案ばかりで、市長は「上古井地区の急速な住宅地としての人口増と、街並みの活性化に対処できる街づくりを進めるためには、地域のみなさんの御協力が必要で、今後も地元の御理解により、行政と連携のうえで推進していきたい」と思います。と地域への期待を込めた発言をしたのに続き、地元からも「われわれも足元を見つめ、原点に立つて今後、われわれがどうすべきか、これを第1回として、次の機会につなげていきたい」とまとめの言葉があり、場内の出席者は、それぞれ、活性化に向けての布石を確認しあ

って閉会しました。

美濃加茂市職員給与実態の公表

美濃加茂市の職員給与等を次のとおり公表します。

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区 分	住民基本台帳人口	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)	昭和62年度の 人件費率
昭和62年度	昭和62.3.31現在 41,181人	千円 9,256,084	千円 490,113	千円 1,794,300	% 19.4	% 21.1

〔注〕人件費には、特別職に支給される給料・報酬等を含みます。

(2) 職員給与費の状況（普通会計予算）

区 分	職員数 (A)	給 与 費	1人当たり 給与費(B/A)
		給 料 職員手当 期末・勤続手当 計 (B)	
昭和62年度	人 328	千円 881,056 千円 126,173 千円 374,824 千円 1,382,053	千円 4,213

〔注〕1. 職員手当には退職手当を含みません。

2. 給与費は当初予算に計上された額であり、給与改善分としての2%分を含みます。

(3) 職員の平均給料月額・平均給与月額及び平均年齢の状況

(昭和62年4月1日現在)

区 分	一 般 行 政 職			技 能 労 務 職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
美濃加茂市	千円 228,292	千円 250,487	歳 36.7	千円 159,415	千円 168,979	歳 49.2
国	千円 236,872	千円 39.6	歳 215,689	千円 47.5		

(4) 職員の初任給の状況（昭和62年4月1日現在）

区 分	美 濃 加 茂 市		国	
	決定初任給	採用2年経過月額	初 任 給	採用2年経過月額
一 般 行 政 職	大学卒	千円 115,900 千円 128,100	千円 115,900 千円 128,100	
	高校卒	千円 97,800 千円 104,100	千円 97,800 千円 104,100	

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（昭和62年4月1日現在）

区 分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一 般 行 政 職	大学卒	千円 195,500 千円 287,200	千円 287,200
	高校卒	千円 163,400 千円 212,000 千円 256,800	千円 256,800

〔注〕経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいうものです。

(6) 一般行政職の級別職員数の状況（昭和62年4月1日現在）

区 分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
標準的な職務内容	主事補 技師補	主事 技師	主任	主査	係長	課長 補佐	主幹	課長	
職員数	人 16	人 45	人 25	人 58	人 35	人 33	人 10	人 28	人 250
構成比	% 6.3	% 17.9	% 9.9	% 23.8	% 13.9	% 13.1	% 4.0	% 11.1	% 100.0
参 考	1年前の 構成比	% 7.7	% 15.8	% 17.0	% 17.0	% 13.8	% 12.5	% 6.1	% 10.1
	5年前の 構成比	% 13.2	% 24.8	% 18.0	% 20.7	% 14.7	% 8.6	% 100.0	

〔注〕1. 美濃加茂市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名職名です。

(7) 職員手当の状況（昭和62年度支給割合）

区 分	美 濃 加 茂 市			国		
	期末手当	勤続手当		期末手当	勤続手当	
期末手当 勤続手当	6月期	1.4月分	0.5月分	6月期	1.4月分	0.5月分
	12月期	1.9月分	0.6月分	12月期	1.9月分	0.6月分
	3月期	0.5月分	一月分	3月期	0.5月分	一月分
	計	3.8月分	1.1月分	計	3.8月分	1.1月分
退職手当	(支給率) 自己都合 勤続・定年			(支給率) 自己都合 勤続・定年		
	勤続20年	21.0月分	28.875月分	勤続20年	21.0月分	28.875月分
	勤続25年	33.75月分	44.55月分	勤続25年	33.75月分	44.55月分
	勤続30年	47.5月分	62.7月分	勤続30年	47.5月分	62.7月分
	最高限度額	67.375月分	67.375月分	最高限度額	60.0月分	62.7月分
	その他の 加算措置 (2%~20%加算)			その他の 加算措置 (2%~20%加算)		
	退職時 特別昇給 1人当たり 平均支給額	制度なし		退職時 特別昇給 1人当たり 平均支給額	1号俸	
		8,771千円				

〔注〕1. 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種の係る職員に支給された平均額です。

2. 退職手当支給率は、岐阜県市町村職員退職手当組合（8市85町村62組合で構成）の規定によります。

特殊勤務手当 (昭和61年度)	区 分		全 職 種
	職員全体に占める手当支給職員の割合		32.9 %
	支給対象職員1人当たり平均支給年額		20,675 円
	手 当 の 種 類 (手当数)		21 種類
	代表的な 手当の名称	支給額の 多い手当	現場作業手当・税務手当・給 食調理員手当・用地交渉手当
		多くの職員に支給 されている手当	用地交渉手当・現場作業手当 税務手当・給食調理員手当

区 分	昭和61年度	支給総額	千円 37,583
時間外勤務手当	職員1人当たり支給年額	千円 130	
	昭和60年度	支給総額	千円 40,320
	職員1人当たり支給年額	千円 140	

(昭和62年4月1日現在)

区 分	内 容	国の制度と 同 じ	国の制度と異なる内容
扶養親族	配偶者 15,000円 ・ 以下2人まで(1人につき) 4,500円 ・ 以下3人目以下(1人につき) 1,000円 ・ のない場合の扶養親族 1人まで 30,000円	同	
住居手当	特例居住者 1,000円 (新築・購入の場合、取得後5年以内) 経過するまでの期間2,500円 世帯・世帯外居住者 敷地面積 15,000円	同	
通勤手当	月通1km以上の者に支給 距離別支給 敷地面積 30,000円	異	国に比べ距離のランクが細かくなっている。 3,000円~30,000円の15ランク

(8) 特別職の報酬等の状況（昭和62年4月1日現在）

区 分	給 料 月 額 等	期 末 手 当
給 市 長	610,000円	6月期1.9月分
助 助 役	520,000円	(昭和62年度)12月期2.5月分
料 収入役	480,000円	支給割合) 3月期0.5月分
		計 4.9月分
報 議 長	280,000円	6月期1.9月分
酬 副議長	245,000円	(昭和62年度)12月期2.5月分
		支給割合) 3月期0.5月分
酬 議 員	235,000円	計 4.9月分

証明書や汲み取りなど

年末の手続きは早めに

年末の市役所は混雑が予想されます。住民票、印鑑証明、戸籍謄抄本などは、早めに手続きをしてください。

なお、斎場や、し尿、可燃物などの取り扱いには次のよう

です。
可茂聖苑(火葬場)
年末は12月31日まで、

年始は1月4日から運営します。

し尿

12月20日までに申し込みください。年末は、汲み取りが集中し、年内の収集ができない場合がありますので、早めに済ませてください。

可燃物の収集

年末・年始の取扱いは下記の表のとおりです。
なお、搬出については、必ず指定袋に自治会・氏名を記入のうえ、各ステーションへ午前8時までに出示してください。

年末の可燃物収集日程

収集曜日	年内最終収集日	63年収集開始日
月・木	12月28日	1月7日
火・金	12月29日	1月5日
水・土	12月26日	1月6日

暴力団の根絶にご協力を！

警察では、みなさんのご協力によって社会の敵、暴力団を社会から根絶させるための三不運動(利用しない、恐れない、金を出さない)を推進しています。

国民年金の保険料は納めましたか

保険料を納め忘れていたり、万一、事故のとき、障害基礎年金や遺族基礎年金などが受けられないばかりか、この先、老齢基礎年金さえ受けられないこともあります。もし、納め忘れの保険料があれば、すぐ納めましょう。

今年もあとわずかとなり、年末年始の諸行事に付随して暴力団員が主に商店、風俗営業業者等に対して門松、しめ縄を中心とする縁起物の押し売りの行為を執拗に行うことが予想されますので、泣き寝入りすることなく、勇気を出して、きっぱり断るか、いやがらせ行為があれば、早期に警察に届出てください。



史料は語る - ⑦

美濃太田駅の開業

明治20年代に飛騨縦貫鉄道として現在の高山線の構想が打ち出されました。そのルートについては政治問題に発展するなど何回も変更され、又、美濃太田駅の位置についても激しい論議がかわされるなど一時混乱しましたが、大正8年に至って岐阜から着工、大正10年11月12日に美濃太田まで開通することになります。

右は当時太田青年会会長であった林亮三氏が鉄道省岐阜建設事務所長から受けとった工事竣工の案内状です。当時は1日往復6本の列車が岐阜・美濃太田間を1時間10分で走ったといわれています。

上の写真は、開業直前の美濃太田駅です。周囲に人家は少なく、駅舎越しに田畑や稲架を見ることができます。

高山線の全線226kmが開通したのは、着工以来15年を経過した昭和9年のことです。



12月11日～20日 年末の交通安全県民運動

気をつけてね！

年末は、あわただしさや交通量の増加に伴い、交通事故の多発が予想されます。

次のことに注意してください。

- ①飲酒運転をしない、させない。
- ②子供や老人に交通事故にあわないよう教える。
- ③ドライバーも同乗者も必ずシートベルトを着用する、などをしっかり守り、「無事故で年末、笑顔で年始」を迎えてください。

わんち仲間たち

袋物サークル

手づくりこそブランド

革を材料にして袋物をつくる。公民館講座を経て今年11年目になる袋物サークルのメンバーです。

千賀すま子先生を指導者に、講座でスタートした時には、ガマ口や手さげバックなど基本的なもの



を手がけましたが、サークルになってからは、創作バックもつくるようになりました。

ボストンバックや書類バック、ポシェットなど、自分のものばかりでなく、家族のものなど様々です。

手づくりバックということもあって、それなりに愛着がわき、家族にも喜ばれています。また、公民館まつりなどでは、みんなで作った袋物を展示する他、即売もし、好評を得ています。

活動は、毎月第1・3火曜日の午後、下古井公民館に集いますが、センスを磨くためお店めぐりや、名古屋で開かれる創作バック展などへも出かけます。

今後は、創作展も開催し、世界で一つしかない、よりオリジナリテイーな作品をつくらせていきたい、とみんな意欲を燃やしています。

なお、袋物サークルは、下古井公民館のほか、太田公民館（第2・4火曜午前）、上古井公民館（第1・3木曜午後）でも活動をしていますので、仲間に加わりたい方は、最寄りの会場へお出かけください。

話題まんさい



産業祭・健康展

展示や即売で関心高める

市産業祭が、ことしも11月7・8の両日、中濃体育館と農協会館で開かれました。ことしは、これまでとおもむきを変え、特にメイン会場となった中濃体育館内では、従来の展示中心から即売も加えて市内産業への関心を高めました。また、健康と食生活をテーマに同時開催された健康展も主婦を中心ににぎわいました。

なお、今回の産業祭と健康展でアンケート調査が行われ、次のような結果が出ました。

来場者調べ（対象数199人 男85 女114人）（ ）内は%

来場者の住所 市内168(84.4)＝太田56(28.2)、古井56(28.2)、蜂屋16(8.0)、下米田14(7.0)、加茂野12(6.0)、山之上6(3.0)、伊深4(2.0)、三和4(2.0) 市外31(15.6)＝可見市11、坂祝町3、関市3、富加町3、多治見市2、名古屋市2、

白川町2、川辺町2、八百津町1、瑞浪市1、津島市1

来場者の交通 徒歩28(14.1)、自転車27(13.6)、バイク4(2.0)、自動車130(65.3)、その他10(5.0)

健康展のアンケート（対象数168人）

④食生活に気をつけていること 塩分90、栄養のバランス75、食べすぎ50、糖分42、脂肪の取りすぎ25、その他5

⑤家族の調理済み食品の利用状況（1週間の回数） 利用する105 1回…52、2回…36、3回…15 利用しない…63

⑥調理済み食品の種類 すし類39、揚げ物27、弁当類14、焼物10、サラダ8、あえもの1、その他15

⑦調理済み食品の利用理由 無駄がない23、忙しいから20、めんどうだから19、好きだから19、おいしいから18、料理が下手だから9、その他9

⑧家族そろっての食事は週何回するか

回数	0	1	2	3	4	5	6	7
朝食 件数(人)	32	12	11	9	12	6	3	74
夕食 件数(人)	9	9	23	11	8	15	11	74

⑨献血の経験は ある65人、ない98、未記入5

⑩がん検診の受診状況 ある…104（胃がん60、子宮がん79、乳がん22） ない…60 未記入…3

⑪1回は健康診査を受けているか いる…110、いない…58

健康展の感想 ・食生活に取り入れることが多くあった・老人食が勉強になった。・試食品の実演をやってほしい。・ドナーの一層の推進を。・たとえ1年に1度でも食生活に対する見直しができる。・もう少し長期間やってほしい。

第2回中山道評定 来年は飛脚駅伝の開催も

中山道を中心とした地域を活性化させようと、沿線8市7町で組織する美濃中山道連合が今年2月に発足。第1回の評定が美濃加茂市で開催されたのに続き、63年度へ向けての第2回評定が11月11日、恵那市の大井宿で開かれました。



たほか、美濃中山道飛脚駅伝の開催や観光情報の収集及び提供など63年度の事業計画、次期開催地（関ヶ原町）などが決まりました。

また席上、同連合が募集し



て選んだシンボルマークをデザインした、栃木県宇都宮市の菊地雅美さん（51歳・デザイナー）が表彰されました。

なお、同連合に新しく、中山道太田宿を愛する会、大湫コミュニティ推進協議会、中山道保存会の3団体が加入しました。



市社会教育視聴覚協議会会長の

三輪 常夫さん（55歳）下古井 地域に根ざした活動を

昭和54年、16ミリ映写技術の資格を持つ人々によって美濃加茂市社会教育視聴覚協議会というボランティアの会が発足した。その時から、ずうっと同協議会の会長を勤めている三輪常夫さん。

「情報化時代を迎え、今後ますます視聴覚機器の役割は重要になると思います。みんなが、もっといろいろな場所で自由に、より有効に活用していけるようになれば、と考えています。そのためには、機材の整備など、まだまだ課題はいっぱいありますが……」

協議会ではこれまで、要請があると会員が16ミリ映画を見せるということが活動の中心だった。最近になって、地域にスポットを当てたビデオやスライドの作品づくりにも挑戦、入賞作品もいくつか手がけるなど、熱が高まってきた。

三輪さんは、こうして長年、市の協議会会長としてリーダーシップをとってきた。同時に、視聴覚可茂地区連絡協議会の会長、さらには、県の副会長も勤め、多忙なスケジュールに追われている。そんな地道な活動がたたえられ、三輪さんはこの10月、全国視聴覚教育協議会表彰を受けた。

「協議会の会員は、みんな職業を持つかわりにボランティアとして活動しています。その会員たちのねぎらいの意味で、今回の表彰は私個人だけではなく、大変励みになります」と謙虚に話す三輪さん。「市の協議会も来年、10周年を迎えます。今後は、16ミリ映写機はもちろん、ビデオなど、あらゆる機材を使って、地域に根ざした活動を展開していきたいですね」と協議会発展へ意欲を見せる。

県民囲碁まつりに 636人

ブレ未来博「県民囲碁大会」が11月15日、中濃体育館で開かれました。

この日参加したのは、愛知県から来た8歳の小学生から88歳のお年寄りまで県内外から636人。館内は、盤上での戦いで熱気にあふれていました。



小中学校音楽会が11月7日、文化会館で開かれました。

今年から、小中学校と一般音楽グループを分けて開催。この日は、午前中に小学校、午後から中学校が舞台上に上り、日頃練習したコーラスや吹奏楽を会場いっぱいに響かせていました。

ハーモニ
会場いっぱい

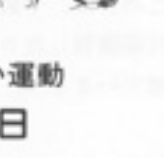
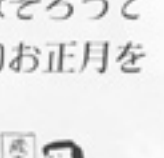
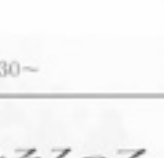
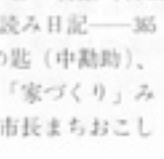
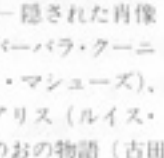
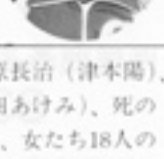
12月の催し

みんな集まれ

図書館 ☎25-7316

休館日 2・9・16・17・23 28日～S63.1/4まで年末年始休館日

各分館でのスナック



中濃体育館 ☎26-3241

休館日 8・9・23・29～S63.1/3まで年末年始休館日

12/ 1(火) 可茂地区農業婦人部体力づくり大会 8:30～
15(火) グラウンド・テニスコート調整会 18:00～
22(火) 学校開放調整会 19:00～
1/ 4(日) 中体クラブ4期分受付 8:30～

水泳サークル エンゼルフィッシュ 会員募集

市教育委員会主催の水泳教室を経て、自主活動を行っています。活動は、毎週金曜日の午前11:45～午後1:00まで、温水プールなどを利用して泳いでいます。入会したい方がありましたら☎0366 光野禮子まで連絡を！ 初心者の方も歓迎します。

中央公民館 ☎25-4141-3

休館日 6・20・28～S63.1/3まで年末年始休館日

来年、成人式を迎える新成人のみなさんに、11月末現在の新成人該当者名簿により案内状を発送します。12月中旬までに案内状が届かない方がありましたら、市社会教育課☎4141へご連絡ください。

●該当者 昭和42年4月2日～43年4月1日までに生まれた人。

文化会館 ☎25-1108

休館日 7・14・20・28～S63.1/4まで年末年始休館日

1(火) 第37回市民の劇場 18:30～
“堀内孝雄コンサート”
6(日) 第4回ピアノ・ビクトロン発表会 12:30～
安在浩子
13(日) 劇団しらかば 午前中
25(金) 宮崎 駿 ビッグ2・スペシャル 10:30～
アニメ映画

第8回 市民書き初め展

市教育委員会が主催して行われます。

会 期 63年1月22日(金)～24日(日)

会 場 文化会館
搬 入 1月17・18日、午前9時～午後6時
搬 出 1月26・27日、午前9時～午後5時



地区	巡回日	巡回場所	巡回時間
加茂野	12月21日(月)	加茂野小学校	1:00～1:30
		加茂野連絡所	1:40～2:10
		鷹之巣公民館	2:20～2:50
		稲辺公民館	3:00～3:30
		木野公民館	3:40～4:10
伊深	12月22日(火)	伊深小学校	1:00～1:30
		伊深連絡所	1:30～2:00
		大洞公民館	2:10～2:30
		中切橋	2:40～3:00
		野地原	3:10～3:30
		最乗寺前	3:40～4:00
三和	12月24日(木)	三和小学校	1:00～1:30
		三和連絡所	1:30～2:00
		中甘屋公民館	2:10～2:30
		上甘屋公民館	2:40～3:00
		上水無瀬	3:10～3:30
下米田	12月25日(金)	中川浦公民館	3:40～4:00
		下米田小学校	1:00～1:30
		下米田連絡所	1:40～2:10
		為岡公民館	2:20～2:50
		小山公民館	3:00～3:30
		牧野公民館	3:40～4:10

【新着図書】時代観察者の冒険(小林信彦)、新陰流小笠原長治(津本陽)、日本語で一番大事な物(大野晋)、煙が目にしみる(堀田あけみ)、死の谷から来た女(夏樹静子)、小さい山と格の花(佐多稲子)、女たち18人の熱い夢(トウス昌代)、ことばの四季(山本健吉)、坂本龍馬一隠された肖像(山田一郎)、ルピナスさん—小さなおばさんのお話(バーバラ・クローネ)、それからのハックルベリー・フィン上・下(グレッグ・マッシュューズ)、永遠のアンナ(フィン編・深町真理子訳)、不思議の国のアリス(ルイス・キャロル、植沢郎)、へび山のあい子—赤い矢と青いほのおの物語(古田足日)、けちんぼおおかみ(神沢利子)、千葉敦子のななめ読み日記—365日の読書ノート(千葉敦子)、「本屋さん」との出会い、銀の匙(中島敦)、「死への準備」日記(千葉敦子)、お入学(橋田寿賀子)、「家づくり」みんな、ここで失敗する！(全国住宅消費者連盟編)、夕張市長まちおこし奮戦記(青野豊作)、惑い(津村節子)

●お話し会 12月5日(土)・12月20日(金) 午後2:00～
●円空講座第3回 円空・心とたたか 12月6日(土)午後1:30～



人権週間

12月4日～10日

人権の共存

互いに相手の立場を考慮して
豊かな人間関係をつくろう

みんなそろって
明るなお正月を



歳末たすけあい運動
12月1日～31日